



奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために

国際ロータリー第 2790 地区 第 8 グループ

創立 1957 年 3 月 23 日

# 銚子ロータリークラブ会報

第 3148 号 2021 年 12 月 1 日(水)発行

Rotary



例会場 銚子商工会館 5 階大会議室 (銚子市三軒町 19-4)

TEL0479-23-0750 FAX0479-25-8789

Email d2790@choshi-rotary.club HP <https://www.choshi-rotary.club>

◇第 65 代会長 石毛 充 ◇副会長 高瀬幸雄 ◇幹事 須永清彦

## 今週のプログラム

第 6 5 回年次総会

卓話「職業奉仕に思うこと」高橋 宏資会員

## 前回例会報告 (11 月 24 日)

点 鐘：石毛 充会長

ロータリーソング：それでこそロータリー

四つのテスト唱和

ビジター紹介：

銚子市消防本部 消防次長 土屋 心一様(卓話)



## 会長挨拶

皆さんこんにちは。本日までの活動報告を致します。先日 21 日第 2790 地区管理運営統括委員会によるクラブ奉仕、会員基盤向上委員会、広報、公共イメージ向上委員会、フェロシップ、親睦活動委員会の三委員会合同セミナーに、須永幹事と私がオンラインで参加致しました。各委員長より活動報告が発表され、会場には 80 名、オンラインでは 130 名近くの会員が登録されたの参加となりました。

また、銚子駅前花壇の花植えを行いました。9 月に花植えを行ったばかりなのに、と思われる方がいらっしやるかとは思いますが、10 月初めの台風での塩害で枯れてしまいました。新たにかわいい花を植えたので、ロータリーのプランターが華やかになりました。花植えに参加された皆さん、お疲れ様でした。

さて先日の 11 月 22 日、語呂合わせのいい夫婦の日でした。私事ですが、40 回目の結婚記念日を迎えることができました。妻に「早いねえ、もう 40 年一緒にいるんだよね」と伝えますと「え～そうだっけ」と軽い返事。ムツとする気持ちを押さえ妻に「どこか出かけようか」と聞きますと「金華山・黄金山神社」に行きたいとの事で、昨日宮城県まで行って来ました。片道 436km、約 7 時間のドライブでした。

宮城県といえば、10 年前の東関東大震災。銚子クラブ有志で支援に行った石巻市。海岸沿いを走り、当時の事を思い出しました。今は復興事業もだいぶ進んでいるように見えました。

ただ気になったのは…。常磐道から見える原発の近くにある一面の田畑が、ほとんど太陽光発電のソーラーパネルとなってしまっているのを見て、複雑な気持ちになりましたね。今はコロナウイルス感染の報道が多く、震災復興のニュースが少なくなった気がします。私達が見えない所で復興はどんどん進んでいます。コロナ禍、震災復興、改めて「がんばれ日本！」と言いたいです。

最後になりますが、ひとえに結婚 40 年、木にたとえますと年輪の輪が 40、地にしっかりと根付いた大木になってくるところですね。私達夫婦も円満。40 年連れ添ってくれた妻に、大きな声では言えませんが「これからも宜しくお願い致します」と伝えたいです。ただし、近年離婚が増えていることも忘れないように気をつけます。

## 幹事報告

1. 三委員会合同セミナーアンケートのお願い  
…ガバナー事務所

2021-2022年度 シェカール・メータ R I 会長テーマ  
SERVE TO CHANGE LIVES  
奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために

2790 地区ガバナー 梶原 等 (千葉 RC)  
地区スローガン Love Other Spirit  
～繋ごう次世代へ 夢ある未来に向けて～

製作◇広報・会報委員会 多部田恵子 廣瀬修一 大岩將道 宮内秀章◇

## 会員の記念日

お誕生日おめでとうございます！



宮内 清次会員  
(11月20日)

結婚記念日 石毛 充会長(11月22日)

## ニコニコBOX

◇石毛 充会長



おかげ様で結婚40年を迎えました。自分でもビックリです。

◇宮内 清次会員



駅前花壇の植え替え作業お疲れ様でした。

## 卓 話

「銚子の消防」  
銚子市消防本部

次長(兼務) 予防課長 土屋 心一様



銚子ロータリークラブの皆さん、こんにちは。私は銚子市消防本部の消防次長を勤めさせていております土屋と申します。本日は例会におけます卓話のご依頼を受け、伺うこととなりました。しばらくの間よろしくお付き合いお願いいたします。

ここで改めまして、銚子ロータリークラブの

皆様には、平素より銚子市の消防行政にご理解、ご協力をいただき心からお礼を申し上げます。伺うところでは、今年度がクラブ創立65周年を迎えられたとの事、歴史と格式高い伝統のクラブ員の皆様、誠にありがとうございます。

また、クラブ員の皆様方の中には、銚子市消防本部の予防課に事務局を置きます「銚子市防火安全協会」に入会され、事業所におけます火災予防を念頭に防火思想の普及啓発にご協力をいただいております。現在の防火安全協会会長は、こちらに以前入会されておりました東部電気青野秀樹様に就任して頂いております。このようなご縁もありまして、クラブ員の方から卓話のご依頼がありました際には、是非、銚子市の消防行政につきましてお話しさせていただければと、返事をさせて頂き本日伺った次第です。

それでは、貴重なお時間、早速始めさせて頂きます。本日はタイトル「銚子の消防」につきまして、「消防の組織」「災害発生状況」「消防行政の課題」の項目を順に説明いたします。

始めに、「消防の組織」を説明させて頂きます。昭和23年に消防組織法が施行され、市町村消防はそれまでの警察制度の一部門から自治体消防へと生まれ変わり、銚子市では昭和24年1月1日に千葉市、市川市に続き県内3番目の消防本部及び消防署として発足しました。

消防組織法により、消防の事務は市町村の責任とされ、常備消防である消防本部・消防署及び非常備の消防機関である消防団を設置しています。常備消防は、一般職の地方公務員である専任の職員が勤務。消防事務の責任者である消防長のもと、消防本部は消防総務課及び予防課の2課が設置され、千葉市消防局舎内に整備されました「ちば消防共同指令センター」への派遣職員2名を含め17名の日勤者で構成され、主に予算、人事、施設管理等の総務事務に加え、消防団事務や救急業務高度化推進に係る警防事務、並びに消防関係法令に基づく危険物規制事務や消防設備関係事務をはじめ火災予防に関する専門的な事務を担当しています。

消防署(分署含む)は、署長以下91名を数え本署に消防隊、救助隊、救急隊を配置して、隔日勤務員を常時15名から17名程度を確保して部隊編成し、災害対応の中核的な役割を果たしています。

また、本署の出先機関として2箇所に分署を設置し、常時6名から7名の隔日勤務員で運用しており、それぞれポンプ車、水槽付きポンプ車各1台高規格救急車1隊を配備し、災害優先の乗換え運用で対応しています。

平成29年1月に新たな防災活動拠点として唐子町へ消防本部・消防署の庁舎、訓練塔を移転新築し、5年目を迎え職員定員116名に対し実員数108名18台の消防車両をもって消防事務に携わっております。

これとは別に、消防組織の両輪の一方である非常備消防、いわゆる消防団は最高責任者である消防団長のもと、10ヶ分団定員579名に対し実員数467名、ポンプ自動車などの車両40台を配備した体制となっています。

消防団は自らの意思で参加した住民有志により組織されている消防機関で、消防団員は各自の職業を持ちながら、郷土愛護の精神に基づき災害発生時などに消防活動に従事し、その身分は、非常勤の特別職の地方公務員となっています。

「地域密着性」、「要員動員力」「即時対応力」といった特性を生かしながら、火災における消火活動、また風水害等の際は河川などの水位警戒や土嚢積み等の対応や土砂崩れの警戒、大地震においても、津波から住民の避難誘導や避難所における後方支援など、多岐にわたる災害対応において活躍されています。

次に、災害発生状況について、説明します。

消防の主業務は災害対応であり、火災・救急・救助などのほか、近年では毎年のように地震や台風、ゲリラ豪雨などの自然災害が発生、大規模、複雑多様化する災害に消防機関一丸となり災害活動に当たっております。

本年も7月に静岡県熱海市において大規模な土石流が発生し、多くの人命や財産が失われ東京消防庁を始め緊急消防援助隊が現地に入り災害対応に当たりました。千葉県では、令和元年9月の台風第15号「房総半島台風」、第19号「東日本台風」、さらには台風第21号に伴う豪雨による甚大な被害は記憶に新しいところです。

また、台風第21号に伴う豪雨被害の対応に初めて、銚子市消防本部では千葉県消防広域応援協定に基づく出動要請を受け、「長生郡市消防本部」管轄の茂原市へ1隊5名が出動し災害活動に協力するといった災害派遣を経験、自然災害における今後さらなる協力活動の増加が予想されます。まず、火災の発生状況ですが、昭和24年から現在に至るまで、最も少ない件数は昨年令和2年の14件で、最も多い件数は昭和37年の109件です。昭和34年から昭和53年までの20年間は、年間平均発生件数が最も多く76.3件となりますが、近年、火災の発生件数は減少傾向にあり、平成23年から令和2年までの10年間は、年間平均発生件数は22.2件と、前掲の昭和後期と比較しますと発生件数

が3分の1以下へ大きく減少しています。

次に救急活動状況です。昭和26年4月、本署に救急自動車を1台配備して救急業務を開始以来、現在（令和3年6月25日現在）では、救急資格者41名、救急救命士資格者22名が高規格救急車4台を運用する体制で救急要請に対応しております。救急救命士の中には、女性職員が1名含まれており、本署における専従隊員として活躍しております。救急出動件数は、昭和26年の58件から始まり現在に至るまで、増加の一途をたどり、令和2年の出動件数は、2,583件と実に44.5倍にも増加しています。近年の救急需要の増加は、本市のみならず全国的なもので、総務省消防庁では今後も増加が続くものと推測していましたが、昨年の件数は一昨年の出動件数の比較では件数で263件、増減率では9.2%の減少となりました。これは全国統計と同様の傾向であり、全国の令和2年中の救急出動件数などの速報値の公表において、減少の理由としては、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う衛生意識の向上や不要不急の外出自粛といった市民の行動変容により急病、交通事故及び一般負傷などの減少につながった事などが考えられると、消防庁では説明付けています。

次に救助活動についてです。本市では、法制化に先駆け昭和55年に特別救助隊を発足、火災の消火活動などに携わる消防隊兼務の救助隊で、隊長以下15名（令和3年4月1日現在）の体制で、はしご車、救助工作車、資機材搬送車といった特殊車両や装備品等を駆使して、交通事故、労働災害などの災害活動にあたっています。また、平成28年には、三方を海川に囲まれた地形から毎年発生します水難事故への対応に、潜水資機材の再整備及び潜水士の育成により水難救助隊員11名を指名し、活動能力の充実強化を図りました。

救助出動状況は、平成23年から現在に至るまで、年間平均発生件数で45件前後を推移しています。

最後に、消防行政における課題についてです。令和2年1月に国内で初めて新型コロナウイルス感染症患者が初めて確認され、これまで急激な感染拡大を繰り返し多くの感染者が発生、新型インフルエンザ特別措置法に基づく緊急事態宣言も幾度となく発出され、社会生活においても大きな影響を及ぼしてきました。消防本部では、総務省消防庁の通知を踏まえ、災害出動時における感染症対策の徹底を図ると共に海匠保健所との協議を開催し、感染症患者の移送や救急業務における具体的な手順の確認を

続けて、業務マニュアルの見直しを重ね災害対応に反映させてまいりました。感染拡大の第5波では本年7月から8月において、市内にクラスターが発生し急激に増加した新規感染患者の発生状況は、指数でいうステージ4に該当し、「感染爆発」の様相を呈しておりました。幸いながら、県内他市の救急活動における感染患者の受け入れ先が見つからないといった、搬送困難な事象は本市の救急活動では、生じませんでした。現在こそ、新規感染者数が激減してはおりますが、予断を許さない状況で今後は第6波の発生に留意していかなければなりません。消防本部では引き続き、新型コロナウイルス感染症から市民を守るため、救急業務をはじめとする消防体制を維持し、業務を継続することで消防本来の任務を果たしていかなければならないと、職員が一丸となり取組んで参ります。今後も、銚子市民の安全安心を目指して、消防行政サービスに努めて参りますので、消防本部・消防団への御理解並び御協力をお願いいたします。拙い説明でしたが、以上で卓話を終わらせて頂きます。ご静聴ありがとうございました。

**委員会報告** 泉英伸親睦活動委員長

12月15日(水)会員の皆様5~6名にミニ卓話をお願いしたいと思います。つきましては、別紙のお題についてエピソードを募集しております。よろしくお願い致します。

**【出席報告】**

会員総数40名 出席計算36名  
出席26名 欠席10名 出席率73.68%  
欠席者：淵岡君・五十嵐君・廣瀬君・金島君  
上総君・木曾君・村田君・鈴木君  
吉原君・高橋宏明君

**【M U】**

11/24 駅前花植え (参加6名)  
石毛君・熊澤君・工藤君・須永君・高瀬君  
山本君



**【ニコニコ】**

ニコニコ BOX	¥10,000	計	¥191,000
スモールコイン	¥ 2,200	計	¥ 16,400
米山 BOX	¥ ー	計	¥ 12,700
希望の風	¥ ー	計	¥ 68,050

次週 (12月8日) プログラム  
「新入会員卓話」 工藤 守利会員  
お弁当：膳(幕の内)

**【私の一言】** 桜井 広和会員  
桜井家に一枚の額があります。それは渋沢栄一(号、青淵)の書です。今年のNHK大河ドラマ「青天を衝け」の主人公で2024年から新しい一万円札の顔になると言うことで渋沢ブームが起きているそうです。

渋沢栄一は(1840年 天保11年~1931年 昭和6年)江戸時代末期の農民が武士に取り立てられ明治、大正、昭和初期迄に活躍した「日本の資本主義の父」と呼ばれ日本最初の銀行や東京商工会議所、500以上の企業、600近い教育機関、社会公共事業の支援や民間の外交などにも積極的にかかわった大実業家として知られています。その渋沢栄一(号、青淵)の為書の額があります。先代が日産化学(肥料)の千葉県の代理店をしていた関係上東京の会合で所望して書いて貰ったと聴いています。当時はそんなに偉い人とは思わなかったんですが、今では家の応接室に掲げて家宝となっています。この額の意味は、世俗を超越し月を釣り雲を耕すようなゆったりとした心境をさしています。「泰然自若」これはロータリアンにも通じるものがあると思います。



☞今年3月青森八戸へ転勤された永澤信元会員より林檎をいただきました。有難うございます。



御馳走様でした。 会員一同